

鹿・熊による列車運行への影響件数更新について

2020年度に続き、線路内に侵入する鹿や熊を発見・衝突したことにより、列車に遅れや運休を生じる事象が数多く発生しております。2021年度は過去最大の件数となり、記録を更新しました。2020年度と同様に最新の統計及び当社で取り組んでいる各種対策をまとめましたのでお知らせいたします。

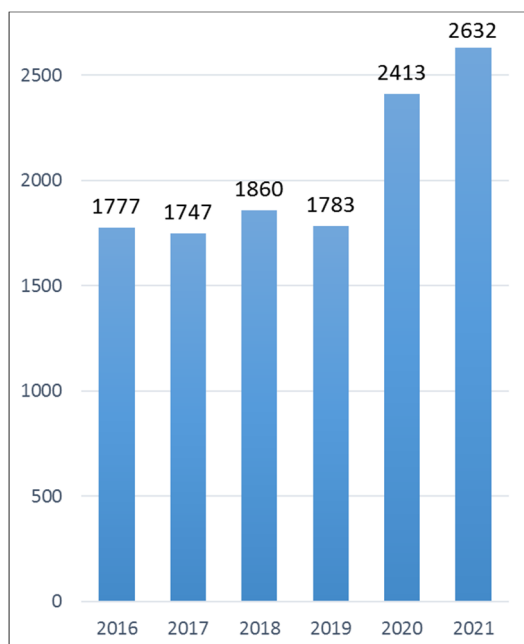
1. 本社・支社各年度別 鹿衝突件数について

年度	本社						釧路				旭川			函館	計	前年比 増減
	本社	山線	千歳	室蘭	石勝	根室①	釧路	釧網	花咲	根室②	旭川	宗谷	石北	函館		
2016	363	21	56	94	43	80	768	250	414	102	610	413	147	36	1777	
2017	431	34	75	88	85	84	708	196	341	164	568	405	123	40	1747	△ 30
2018	452	34	84	92	119	81	796	215	391	178	567	361	152	45	1860	113
2019	420	43	78	100	71	74	735	236	329	164	575	376	164	53	1783	△ 77
2020	626	51	81	152	115	125	943	279	377	277	776	457	248	68	2413	630
2021	772	55	84	234	161	130	1023	323	415	275	765	462	245	72	2632	219
平均	511	40	76	127	99	96	829	250	378	193	644	412	180	52	2035	

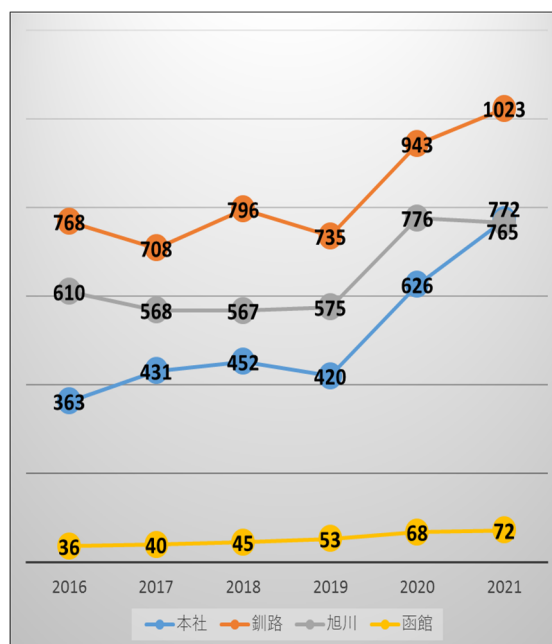
(※山線 小樽～目名、根室① 滝川～上落合、花咲 釧路～根室、根室② 上落合～釧路)

※ 2021.6.16 プレス資料から件数修正 (重複データ削除・本社・支社間件数の誤り修正)

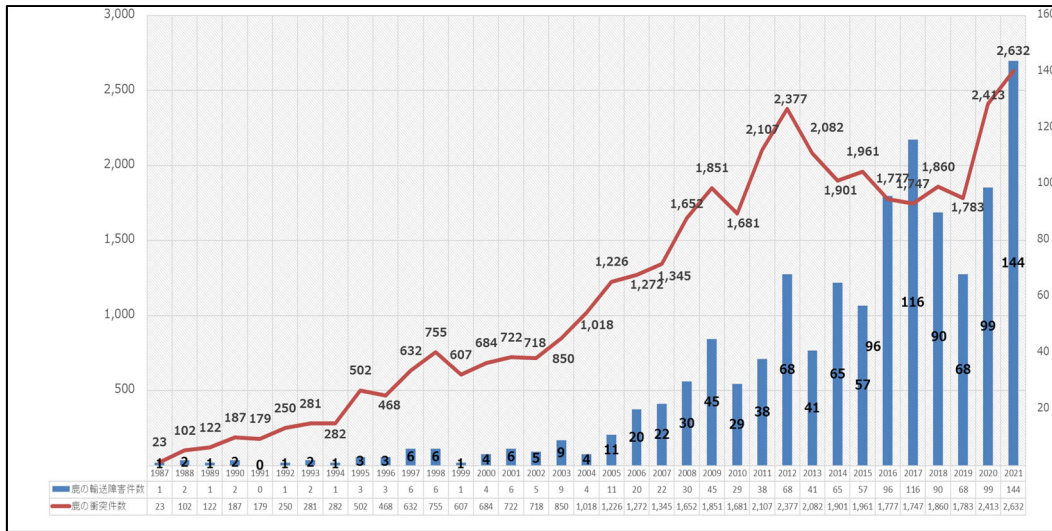
- ・ 2020年度に続き各線区で概ね増加傾向となり、**衝突の最多件数を更新しました。**
- ・ 本社直轄管内及び釧路支社管内での発生件数が直近で最多となっています。



＜年度別 鹿衝突件数 (全体)＞



＜年度別 鹿衝突件数 (本支社別)＞



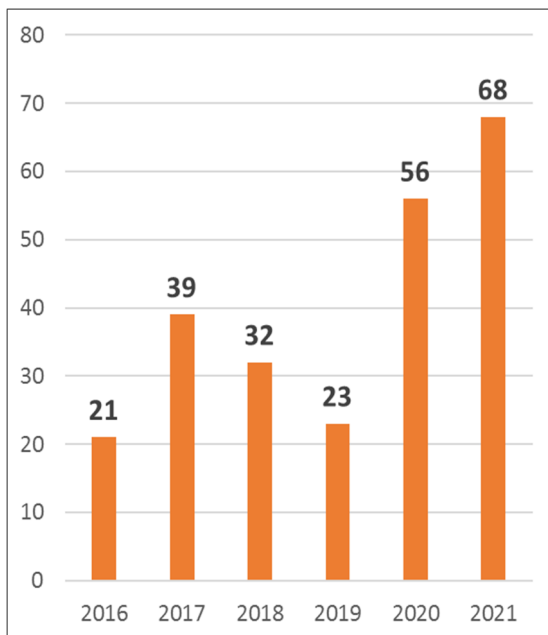
<参考：JR発足後からの年度累計グラフ（輸送障害は発見等含む）>

2. 本社・支社各年度別 熊発見、衝突件数について

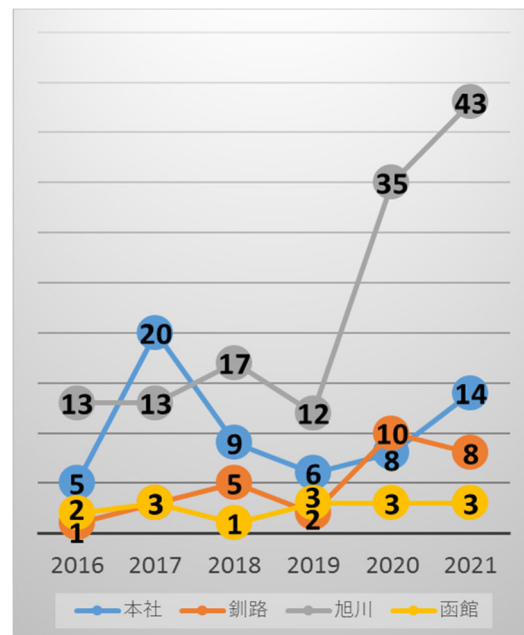
年度	本社	釧路	旭川	函館	計	うち衝突	前年比 増減	輸送障害 (衝突)
2016	5	1	13	2	21	9		0
2017	20	3	13	3	39	32	18	11
2018	9	5	17	1	32	21	△ 7	4
2019	6	2	12	3	23	17	△ 9	9
2020	8	10	35	3	56	41	33	12
2021	14	8	43	3	68	46	12	13
平均	9	5	21	2	38			

※ 2021.6.16 プレス資料から件数修正（重複データ削除・本社・支社間件数の誤り修正）

- ・熊による事象につきましても、**2020年度を上回り最多件数を更新しました。**
 - ・本社管内、旭川支社管内が増加傾向です。
- 【石勝線 6件（前年比+3件）、宗谷線 28件（前年比+9件）】



<年度別 熊発見・衝突件数 (全体)>



<年度別 熊発見・衝突件数 (本支社別)>

3. 現在の鹿対策及び鹿の処理方法について

当社では、列車と鹿との衝突件数が全体傾向としては年々増加しています。これまで当社では線路脇に鹿侵入防止柵を設置し、鹿との衝突事象減少に向けて取り組んでいます。

○鹿侵入防止柵（現在も継続実施）



<線路脇に設置している鹿侵入防止柵（宗谷線）>

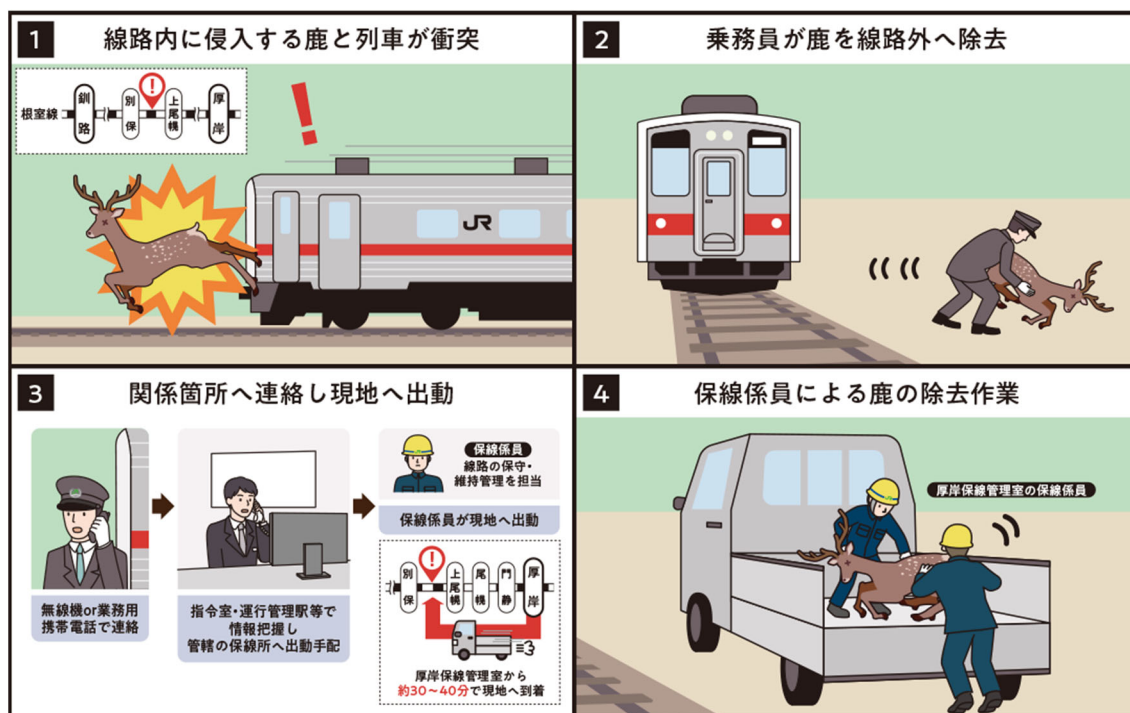
	根室線	石北線	函館線	石勝線	宗谷線	千歳線	室蘭線	釧網線	合計
合計(km)	45.0	5.2	10.4	13.5	2.5	21.6	19.9	5.1	123.2

(2021年度末現在)

<線路別 鹿侵入防止柵設置状況>

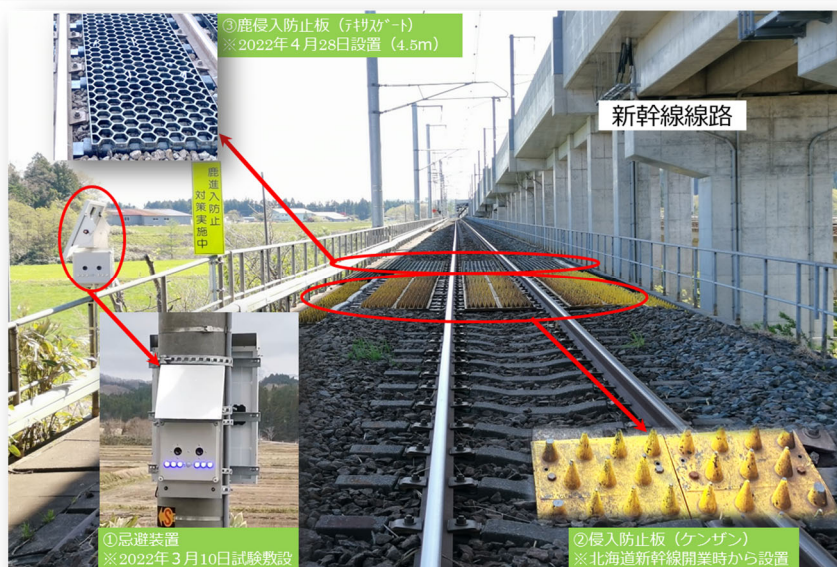
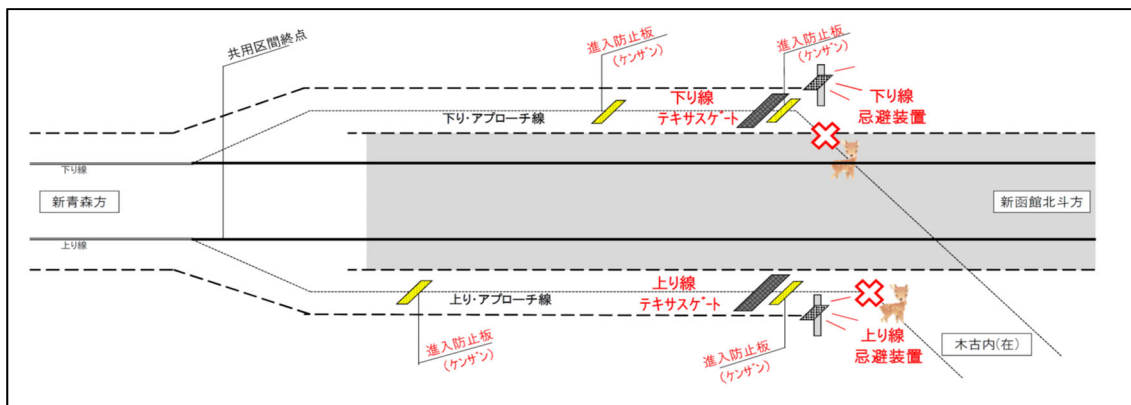
他にも鹿が多数出没する区間において列車をゆっくりと速度を落として運転できるダイヤにすることにより、鹿との衝突を回避する取り組みを実施しています。

参考. 鹿の処理方法（2021.6.16 プレス資料より）



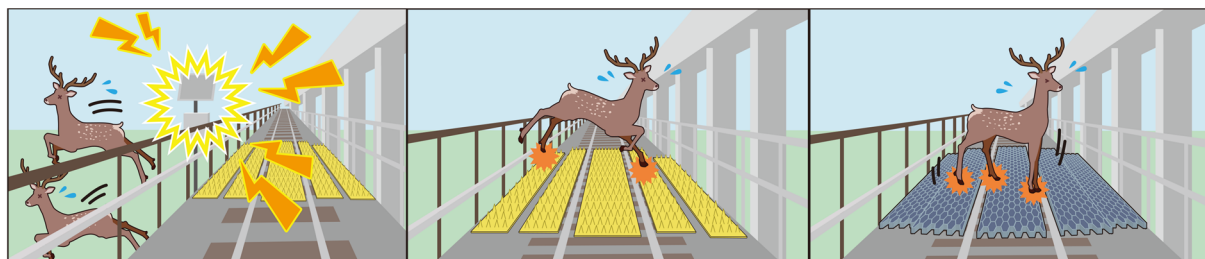
4. 北海道新幹線における鹿対策

当社では、2021年10月8日 北海道新幹線 木古内駅構内アプローチ（新幹線と在来線が交差する部分）部付近の線路内に鹿が侵入し、大きな輸送障害となった事象を受けて鹿の進入防止対策を実施しました。



<木古内駅構内 鹿対策設置箇所>

(鹿侵入防止のイメージ)



<①忌避装置>

<②ケンザン>

<③テキサスゲート>

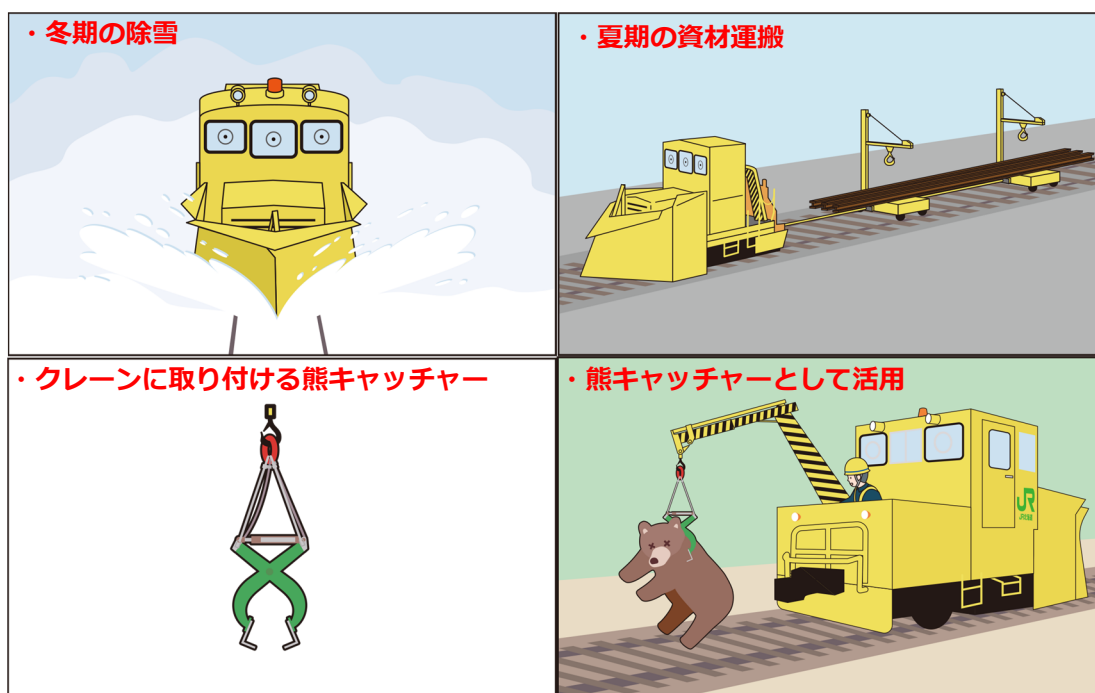
- ① 「音と光」にて威嚇し、鹿を線路内に寄せ付けません。(センサーにて感知し起動)
- ② 無数の突起物により鹿の進入を防止します。
- ③ 鹿の足サイズほどの、ハチの巣状の格子となっており、歩行しにくくなっています。

5. 熊の処理方法について

列車と衝突した熊を処理する際は、鹿の処理時とほぼ同様に現地に赴き地上で作業を行うことを基本としていますが、作業中に別の熊が出没する恐れもあるためハンターを手配し安全を確保しながら処理にあたります。

ですが、ハンターの人手不足や処理にあたる保線係員の安全を確保するため、冬期は除雪、夏期はレールや資材運搬に使用している保守用車のクレーンに「熊キャッチャー」というアームを取り付け、現地に赴き処理を行う場合があります。

熊キャッチャーでは保線係員が保守用車上から熊を吊り上げて作業を行うことができるため、線路上に降りることなく、また、直接熊に触れることなく安全に作業ができます。



＜保守用車の様々な活用方法（200形の場合）＞

※現在 200 形は主に熊キャッチャーのみとして使用

「熊キャッチャー」は全道で4箇所配備されています。
（宗谷線：3箇所 石勝線：1箇所）



＜熊キャッチャー 配備箇所＞